

島根県地域医療再生計画の概要

1. 事業費・対象地域

- ・事業費：25億円×2対象地域＝50億円（平成21年度中に基金を設置）
- ・事業期間：平成21年度～平成25年度

2. 島根県の地域医療再生計画の全体像

県東部地域計画 <25億>
<全県15億 地域10億>
(雲南圏域・隠岐圏域、安来市)

県西部地域計画 <25億>
<全県14億 地域11億>
(大田圏域・浜田圏域、益田圏域)

3. 検討経過

- | | |
|--------|---------------------------------|
| 8月3日 | 地域医療支援会議(第1回) |
| 9月15日 | 地域医療支援会議(第2回) |
| 10月16日 | 国への再生計画提出
国の有識者による協議会での審議、承認 |
| 12月18日 | 国内示(島根県内示額50億円) |
| 12月25日 | 地域医療支援会議(第3回) |
| <H22年> | |
| 1月8日 | 国へ交付申請書提出 → 1月29日 交付決定 |
| 2月 | 県において、基金条例の制定、予算案を議会提出(2月議会) |

4. 対象事業

【対象地域における成果目標】

- ・病院に勤務する医師の充足率の引き上げ75%（現状69%）
- ・需給見通しに対応した看護職員数の確保

本計画では、医師不足が深刻な地域における医師をはじめとした医療従事者の確保に重点をおき、併せて、医療用のヘリコプターや遠隔画像診断などマンパワー不足を補うための体制整備を図る。

【全体の枠組み（50億円（県全体事業29億円 対象地域事業21億円））】

1. 医師確保対策 <25億円>

【現役の医師を「呼ぶ」対策】 大学での地域勤務医育成経費を補助

【将来の地域医療を担う医師を「育てる」対策】

- ・島根大学寄附講座の設置

地域医療に携わる医師の育成と奨学金医師等の勤務する医療機関の調整

- ・医学生への奨学金を再編・拡充(32名の貸与枠を設定)

再編：医学部定員増向け奨学金：島根大学10名枠（骨太方針2008、2009）、鳥取大学2名枠

新規：不足診療科（産科、小児科、外科等）を対象とした医学生向け奨学金：5名枠

- ・研修医の育成、支援

初期、後期研修医向け研修資金貸付

後期研修医の国内留学を支援

専門医、指導医の資格取得経費を支援

【島根で働く医師を助ける対策】

- ・地域医療を守る普及啓発活動を支援
- ・地域医療機関に赴任した医師に研修資金を貸付
- ・地域医療機関に勤務する非常勤医師の交通費を補助
- ・病診連携への支援

地域の開業医の応援により、救急病院の勤務医の負担を軽減

2. 医療用ヘリコプター<8億円>

インフラ整備（ヘリポート整備等）

ドクターヘリ運航経費

3. ITを活用した地域医療支援<10億円>

電子カルテ連携システム整備

遠隔画像診断システムの整備支援

4. 看護職員確保対策<5億円>

【県内進学促進・県内就職促進対策】

- ・養成所専任教員の研修を支援
- ・養成所専任教員と臨床現場の看護師の人事交流
- ・看護職員確保のための修学資金貸与の拡充

【助産師確保対策】

- ・県内定着のための修学資金貸与制度を創設

【離職防止・再就職促進対策】

- ・短時間正規職員制度の試行など離職防止・再就職促進に要する経費を補助
- ・指導看護職員の研修、代替職員人件費を補助

5. がん予防・検診対策<2億円>

【検診率の向上対策】

- ・開業医が行う時間外子宮頸がん検診補助
- ・マンモグラフィー検診機器整備

【がん診療情報・相談機能の充実】

- ・がん登録の整備
- ・専門相談員による相談機能の充実